

# 速習パレスチナ史 年表版 BC1020～『壁—占領下の物語Ⅱ』が生まれるまで

by 椿 昇

- BC1020年 サウルがユダヤ人として最初の王となる>ダビデ王が北方のイスラエルと南方のユダを統一・エルサレムを首都に>息子ソロモン王のとき古代ユダヤ王国最盛期・エルサレムに壮大な神殿(第一神殿)
- BC721年 イスラエル王国アッシリアに滅ぼされる・ユダ王国/バビロニアに滅ぼされる
- BC586年 第一神殿破壊・バビロンの捕囚・ディアスポラ(ユダヤ人の離散)
- BC516年 ペルシャがバビロニアを征服・エルサレムへのユダヤ人帰還を許す@第二神殿再建
- 70年 ローマによる第二神殿破壊
- 4C ビザンチン帝国の支配
- 7C アラブ軍による支配
- 1096年～1291年 十字軍の遠征
- 1250年～ マムルーク朝支配
- 1299年～ オスマントルコの支配
  - ※元来イスラム教はユダヤ教徒を同じ啓典の民として寛容に扱っていた。
- 1895年 ドレフェス事件をオーストリアのユダヤ人新聞記者ヘルツルが取材し、「ユダヤ人国家」という本でシオニズムを提唱。
  - ※当時のエルサレムはオスマントルコ領の地方都市で人口はたった7万
- 1914年 第一次世界大戦オスマントルコはドイツについて敗北。
- 1917年 イギリスのアレンビー将軍エルサレム入城
  - ※対トルコ戦でアラブの協力を得るため、駐カイロ高等弁務官ヘンリー・マクマホンとアラブの指導者メッカ太守フセイン・イブン・アリがフサイン・マクマホン協定を締結>協力してトルコと闘えば、現シリア周辺地域にアラブ人国家を作ると約束、しかしパレスチナという文言は無いので水掛け論。
- 1916年 サイクス・ピコ条約でイギリス・ロシア・フランスはトルコ領を秘密裏に分割密約。
  - フサインに渡すと約束した同じ場所をフランス領にするなど矛盾
- 1917年 バルフォア外相がパレスチナにユダヤ人国家を樹立する「バルフォア宣言」を発表
- 1920年 イギリスによるパレスチナの委任統治開始
- 1920年4月4日 はじめてエルサレムで衝突が起こり、今に続く紛争の発端となった。
  - ※1936年から3年間の死者>ユダヤ人 500・英国 150・パレスチナ 3000
  - (内 1000 はスパイとしてパレスチナ人同士で粛清)
- 1939年 第二次大戦が近づくと再びイギリスはパレスチナに色目。
  - バルフォア宣言を見直しユダヤ人の移民を規制
  - ※ホロコーストを生き延びたユダヤ人 10 万のパレスチナ移民を拒否。ユダヤ人過激派イツェルやレヒの対英テロ激化。イギリスはパレスチナの委任統治を投げ出し、国連に委託
- 1947年11月29日 パレスチナ分割国連決議。イギリス棄権。ソ連・アメリカ賛成。
  - ※双方爆弾テロの応酬・内戦状態に
- 1948年5月14日 イスラエル独立宣言ダビッド・ベングリオン。ただちにアラブ連合軍がイスラエルに向け大部隊で侵攻開始(第一次中東戦争)
  - ※トランスヨルダン軍の司令官はイギリス人将校というねじれ現象 ○戦争開始時の圧倒的不利をくつがえしイスラエル勝利。エジプトと休戦協定を締結し国家の基礎を固める
  - ※この時はじめてパレスチナ難民が発生。現在までに 400 万人を数える
- 1956年 第二次中東戦争
  - ※ナセル大統領のスエズ運河国有化が発端・英仏にイスラエルが同調。以後武器調達がチェコからフランスに
- 1959年頃から アラファトはファタハという組織名を使用
- 1964年1月 アラブ首脳会議はPLO設立。初代議長はアフマド・シュケイリ
- 1967年 第三次中東戦争(6日戦争) ※水資源問題が根底・電撃作戦
- 1969年2月 アラファトは前年のカラメの戦いでイスラエルを撃退した人気を受け、PLOの議長になる
- 1970年9月6日 ヨルダン内に二重国家を作って専横の限りを尽くしていたアラファト対し、フセイン国王が掃討作戦に出る。「ブラックセプテンバー」と呼ばれるパレスチナ人の虐殺が始まり3000人の死者、アラファトはシリア経由でレバノンに逃れた
- 1972年 ミュンヘンオリンピックでのイスラエル選手団襲撃事件など、世界各地でテロを繰り返す
- 1973年 ヨム・キップールの奇襲。油断したイスラエル存亡の危機に、当時のメイヤ首相は核兵器を使う一歩手前に(現在は200~400発保有)。ダヤン国防省の戦略でかろうじて痛み分け

- 1974年10月 アラブ首脳会議でPLOをパレスチナの代表と認める「ラバト決議」を採択。
- 11月 アラファート議長、国連総会で演説
- 1975年3月 モザイク国家レバノンの安定がアラファートの加入で混乱。  
キリスト教右派民兵のパレスチナ人バス襲撃を発端に、15年にわたる内戦が勃発する。  
アラファートは今度はレバノン内に二重国家を建設
- 1976年8月12日 ベイルートのパレスチナ人キャンプ、タッル・ザアタルにて住民4,000人虐殺される
- 1977年 イスラエルコンプレックスを払拭したが戦費で疲弊したサダト大統領電撃的にエルサレムを訪問し単独和平交渉開始。対ソ連倒から対米協調路線へ→エジプトの孤立化。6月イスラエル、ペギンを首相とするリクード政権成立
- 1978年9月 米・カーター大統領、サダト大統領とペギン首相を招き会談(キャンプ・デービッド合意)
- 1980年7月 イスラエル国会、エルサレムを首都と定めるエルサレム基本法採択
- 1982年 イスラエル軍シナイ半島から完全撤退 イスラエル軍、レバノン侵攻開始 PLO、ベイルートから退去。9月16・17・18 ベイルートのパレスチナ人キャンプ、サブラとシャティールにて、イスラエル軍にキャンプが包囲される中、レバノンの右派民兵により住民が大量虐殺される(サブラ・シャティールの虐殺)
- 1984年9月 サブラ・シャティールの虐殺の遺児達を支える目的で、パレスチナの子供の里親運動発足
- 1985年(～1987) レバノンの民兵組織によるパレスチナ難民キャンプへの猛攻撃と封鎖が続くキャンプ戦争の時代に入突
- 1987年12月 ガザ地区とヨルダン川西岸にて民衆蜂起(インティファダ)開始
- 1988年7月31日 ヨルダン、西岸を法的・行政的に放棄する宣言。
- 11月15日 アルジェにてパレスチナ国民評議会(PNC)によるパレスチナ独立宣言。  
と同時に国連安保理決議242、338号の承認により、イスラエルを事実上承認する
- 1990年8月2日 イラク、クウェート侵攻  
※フセインがアメリカに嵌められたという説が根強くある
- 1991年1月 米軍中心の多国籍軍、イラク空爆を開始 →湾岸戦争(～2/28)。  
10月30日マドリードにて中東和平会議が開催されるがPLOの参加認められず
- 1992年6月23日 イスラエル、ラビン労働党連立内閣成立
- 1993年9月13日 ワシントンDCにてPLOとイスラエルが「オスロ合意」に調印
- 1994年5月4日 ガザ・エリコからイスラエル軍撤退。先行自治協定(カイロ協定)。  
10月26日イスラエル・ヨルダン平和条約締結
- 1995年9月28日 パレスチナ自治拡大協定(タバ合意)。11月4日ラビン首相、極右イスラエル人に射殺される
- 1996年1月20日 パレスチナ暫定自治区の総選挙で議長にアラファート選出。ラビン亡き後、ペレス新政権誕生。レバノン・カナの国連基地内に逃げ込んだ民間人100名以上を爆撃。南レバノンの泥沼化。  
5月29日 イスラエル、ネタニヤフ・リクード政権成立
- 1997年3月18日 イスラエル、ハール・ホマ入植地建設着工を強行。国連総会はハール・ホマ反対決議を二度採択するが、米国が拒否
- 1998年1月17日 ヘブロンからイスラエル軍撤退(ヘブロン合意)
- 10月23日 イスラエル軍、追加撤退合意(ワイ・リバー合意)
- 1999年5月17日 イスラエル、バラク労働党政権成立。9月5日シャルム・エル・シェイク覚書(修正ワイ・リバー合意)調印
- 2000年5月24日 イスラエル、レバノン撤退終了。7月11日キャンプ・デービッドでクリントン米大統領、バラク、アラファートとが和平交渉を行うが25日決裂。9月28日リクード党党首シャロンがエルサレムのハラム・アッシャリーフに強行訪問し、第二次インティファダ勃発
- 2001年2月6日 イスラエル、シャロン・リクード政権成立。その後パレスチナ人による対イスラエル自爆攻撃が多発。8月10日イスラエル、東エルサレムのPLO本部「オリент・ハウス」を占拠。8月27日イスラエル、西岸のラマッラーに侵攻。10月17日イスラエルのゼビエ観光相、PFLPにより暗殺
- 2002年3月29日 イスラエル西岸のラマッラーに侵攻、議長府を包囲。4月3日イスラエル、ナブルスに侵攻、西岸の自治区8都市のうち6都市を制圧。4月5日 イスラエル、ジェニンの難民キャンプを攻撃。7月23日イスラエル、西岸の隔離壁の建設を開始
- 2003年3月20日 米英によるイラク攻撃開始。4月29日パレスチナ、アッバス新内閣を承認。4月30日ブッシュ米大統領、新中東和平案「ロードマップ」発表。9月6日アッバス首相辞任
- 2004年11月11日 パリの病院でアラファート死去
- 2005年1月 アッバス議長就任。8日の中東首脳会議でイスラエルと自治政府の停戦合意が発表された後も対イスラエル攻撃を続ける過激派にアッバス議長は自制を求めた。会談後、ハマスとイスラム聖戦の幹部は停戦合意を尊重する意向を示す